

## 進化するステラドームのご紹介

株式会社アストローツ 豊田哲也

ステラドームは、デジタルプラネタリウムを中心に置いた、純国産のソフトウェア群です。ユーザーの皆さまの声を取り入れながら、「ともに進化する」プラネタリウムソフトウェアとして歩み続けています。

高度な天文シミュレーションはもちろんのこと、様々な周辺機能・連携機能・ツールを開発し、単なる投影ソフトにとどまらない「プラネタリウムの新しい形」を提案しています。特徴としては、

- ・ 正確なシミュレーション
- ・ コンシューマ製品との互換性
- ・ 学習投影など特定のニーズに特化した演出の搭載
- ・ ライブ投影でも使いやすいインターフェイス
- ・ 子どもでも扱える番組エディタ
- ・ 観測データを直接視覚化できる機能
- ・ カスタマイズやチューニングのしやすさ

などが挙げられ、これらの機能・ツール群が、施設のオリジナリティや地域との連携を強力にサポートします。全国プラネタリウム大会2014の事業プレゼンテーションでは、ステラドームの最新機能や導入事例紹介の他、導入や活用の具体的な方法などについて紹介させていただきます。

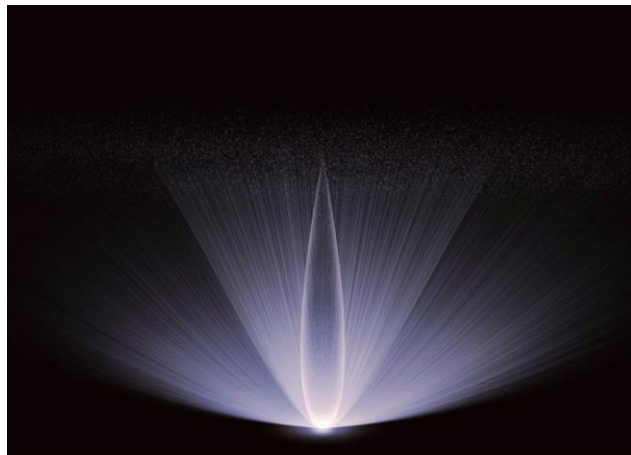
## プラネタリウム番組「宇宙図」について

合同会社スターライトスタジオ 広橋 勝

138 億年というタイムスケールで膨張を続ける宇宙の時間と空間を 1 枚のポスターで表現した「宇宙図」。弊社では科学館や教育現場を中心に浸透しつつある「宇宙図」と連動したプラネタリウム番組を制作しています。ドーム空間の特性を生かして、「宇宙図」の中をフライスルーするような体験型映像を目指します。

番組を見て終わりではなく家に帰ってからポスターを眺めてみようという気持ちにさせ、ひいては宇宙について考えることの日常化を促すような番組です。

番組の大まかな構成やサンプル動画などをお見せしながらプラネタリウム番組「宇宙図」の可能性と魅力についてご紹介します。



## 雑貨団のここまでのあらすじ

雑貨団 小林善紹

芸術創造チーム雑貨団の、これまでの作品紹介と、今後の展望を発表します。  
「ウチュウ+アート」をコンセプトに、プラネタリウム演劇公演、こどもワークショップ、プラネタリウム番組プロデュースや映像作品など、様々な手法で宇宙と観客との架け橋を作ってきた雑貨団が、パフォーマンスの実演を交えて活動を報告させていただきます。



宇宙は私を待っている！



平塚市博物館 × 雑貨団



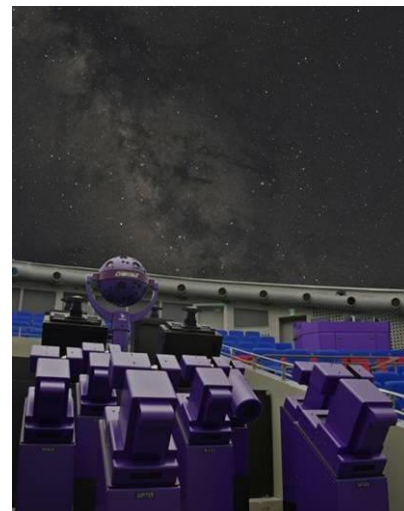
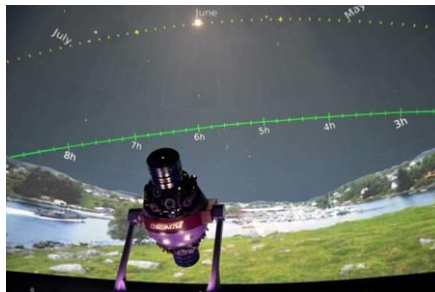
## GOTO NOW 2014

株式会社五藤光学研究所

五藤光学研究所はドーム空間のトータルクリエイターとして、長年、光学式プラネタリウムや全天デジタル映像システム、音響システム、ドームスクリーンや座席、室内内装工事など、プラネタリウム施設に必要なあらゆる事柄を皆様と共に創りだしてきました。

本発表では、私たち五藤光学研究所がこの1年間に手掛けてきたこと、皆様に評価されたこと、そして、今後の取り組みなどについてご紹介します。

もしかすると、まだあなたが見たことも、聞いたことも無いことが、ここで発表されるかもしれません。お楽しみに。



## コニカミノルタプラネタリウムの取り組み 2013-2014

コニカミノルタプラネタリウム株式会社 営業部国内営業グループ 藤掛曜平

当社の昨年の多摩六都大会から現在までの納入実績、そしてこれからの取り組みを発表します。

納入実績としては、川口市科学館様、秋田ふるさと村様、浜松科学館様のシステムをご紹介します。

また、当社直営館の“満天”は、今年の3月20日に10周年を迎えることができました。“満天”、“天空”の1年間の取り組みをご紹介します。

また、新商品として、最新のデジタルプラネタリウム、新光学式プラネタリウムについてもご紹介します。

## プレアデスシステム最新導入事例紹介

科学技術館 永尾大作

皆様のご愛顧に支えられ、おかげさまでプレアデスシステムも発足から5年を迎えることとなりました。

プレアデスシステム導入館として、昨年施工を進めておりました、三重県津市の『神楽洞夢』、並びに石川県小松市の『3Dスタジオ』がこの度オープンを迎えましたので、改めてご紹介したいと思います。

神楽洞夢においては4Kプロジェクター5台による、高精細で迫力のある映像とともに、細部にまでこだわった内装により最上級の映像空間を体験頂けると思います。

3Dスタジオにおいても4Kプロジェクター4台のスタック投影による非常に明るい映像、並びに3Dメガネを使用した立体投影で、宇宙の奥行きや星座の立体構造を直に体験できる施設となっております。

またホームページをリニューアルしましたので合わせてご報告致します。



## ORIHALCON Technologies Works 2013-2014

株式会社オリハルコンテクノロジーズ 高幣俊之

ドーム映像再生ソフトウェア AMATERAS Dome Player の最新版 (version 3.0) をリリースしました。ドーム専用のツールとして再設計することで、大幅な機能拡張と安定性の向上を実現しています。多数の平面映像やパワーポイントなどの合成表示、映像切り換えや色調補正などのリアルタイム特殊効果、Oculus Rift や RICOH Theta への対応など、注目の機能について発表の中でご紹介します。Amateras は新開発の Mac 版も含め、今後ともフリー版の提供とプラネタリウム施設への導入を進めていきます。



スペースエンジン UNIVIEW は、最新の UNIVIEW 1.6 がリリースされます。より滑らかに宇宙に飛び出すカメラワーク、操作インターフェースの刷新、土星の輪や高精細な星雲の描画などの機能向上が進みました。リリース後には、UNIVIEW 館に対して順次提供していく予定です。

三重県津市の神楽洞夢（実効 7 K の高解像度・高輝度ドーム）、石川県小松市のサイエンスヒルズこまつ立体ドームシアター（最新の 4 K 立体ドーム）といった最新プラネタリウム施設へのシステム導入や、技術応用による広範な事例についても紹介いたします。

今後とも弊社の取り組みにご注目ください。

## 全く新たな投影方式「FUSION」

有限会社大平技研 大平貴之

FUSION とは、光学式プラネタリウムとデジタルプラネタリウムの技術を「融合-FUSION」させた全く新たな投影方式です。光学式プラネタリウムとデジタルプラネタリウムを連動させて美しい星空に多彩な演出機能を加える方式は、ハイブリッド、ないし統合式、等として一般的になってきましたが、FUSION は、星空そのものを光学式とデジタルプラネタリウムの両方で作り出す点で大きな違いがあります。

この発表では、光学式ならではの星空の美しさのまま、全ての星の色や瞬きまでも再現し、星空に自在にマスクをかけることも可能にした FUSION の特長とそれを使った上映事例を紹介し、FUSION だからこそできること、その活用のポイント、今後のビジョン等を紹介したいと思います。



FUSION 演出の一例。すばる望遠鏡のドームから  
覗く星空。